

数 μm の微小物を前処理なしで分析

顕微ラマン分光光度計

令和6年4月 利用開始予定

■ 装置概要

試料にレーザー光を照射して発生する微弱な光(ラマン散乱光)を利用して、有機・無機化合物の結合状態を分析する装置

【装置特徴】

- ・ 前処理不要、非破壊で微小物(数 μm)分析が可能
- ・ 炭素間結合の分析に強く、炭素材料評価が可能

■ 主な仕様

- ・ レーザー:532nm , 785nm
- ・ 測定波数範囲:50-3400 cm^{-1}
- ・ スペクトルピクセル分解能:1 cm^{-1}
- ・ 空間分解能: XY<0.5 μm , Z<2 μm
- ・ イメージング測定、ライブラリー検索対応

■ 機器活用事例

- ・ 混入微小異物の分析、未知物質の同定
- ・ 炭素材料の評価
- ・ 多層フィルムの構造解析
- ・ 半導体の残留応力測定
- ・ 脂質の非破壊分析
- ・ 錠剤中の成分分布

■ お問い合わせ先

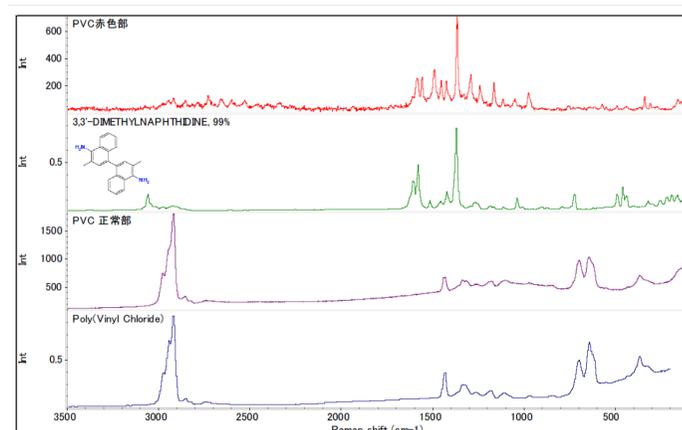
材料技術・事業化支援室 化学技術担当

TEL 048-265-1380 FAX 048-265-1334

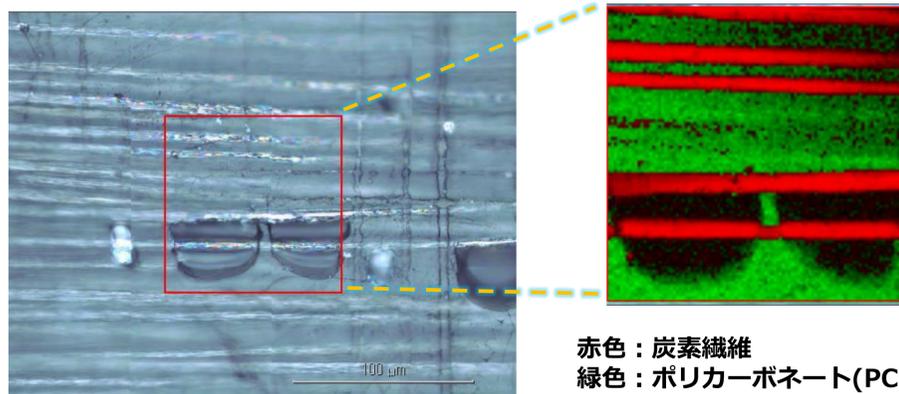


メーカー：サーモフィsherサイエンティフィック(株)
型式：DXR3xi

測定事例① 赤色異物の分析



測定事例② PC-CFRPのイメージングラマン



試料表面の観察画像

赤色：炭素繊維
緑色：ポリカーボネート(PC)

公益財団法人JKAによる2023年度のオートレースの補助を受けて導入



埼玉県産業技術総合センター